

目次 昭和五十六年十一月号(通巻第一六九号)

特集 国守る姿勢はこれでよいか

表紙 黙々と技を磨く海上自衛隊

(手前から「あさかぜ」「きくづき」……)

口絵写真

昭和三十六年末頃の東郷平八郎中将
海軍兵学寮趾記念碑と築地兵学校出身者

国は守るべきもの……………筑土龍男 4

汝、平和を欲すれば戦争に備えよ……………渡辺謙 一 8

さばけていた海軍とその反対の防衛庁……………瀬間 喬 10

生徒は国の宝―築地海軍兵学校の追憶……………真田鶴松 16 35

東郷平八郎初陣の薩英戦争……………井上 団 平 17

アメリカ、ニミッツセンターで平和祈念……………福地 誠 夫 19

舞鶴時代の東郷平八郎(上)……………戸 祭 武 20

知られざりし特攻計画―剣作戦……………今 川 文 彦 26

存亡の危機に立つパキスタン……………山 崎 多喜男 31

海軍23―海軍魂
その爽やかさとバイタリティ……………吉 田 俊 雄 36

T大佐の思い出……………津 田 鴻太郎 42

一 里 塚……………正 木 生 虎 46

運のよい人悪い人(17)……………稲 葉 通 宗 48

東郷神社だより……………7

新入会維持会員……………47

ご結婚おめでとうございます……………45

舷灯 臉に浮かぶ横須賀……………渡 辺 義 雄 50

書評 「氷川丸物語」「大東亜戦争、鎮魂と苦心の記録」……………51